

# 日 程 表

A会場 (学術集会)	B会場 (学術集会)	C会場 (講習会)
9:25 開会の辞		
09:30 ~ 10:10 婦人科 1 ~ 4 座長：南 元人	09:30 ~ 09:50 乳腺・体表 21 ~ 22 座長：柏倉 由実	9:30 ~ 10:20 講習会 1 (消化管領域) 「消化管の急性腹症」 座長：白木 克哉 講師：畠 二郎
10:20 ~ 11:20 消化器 (脾臓) 5 ~ 10 座長：橋本 千樹 山田 玲子	10:00 ~ 10:40 循環器 1 23 ~ 26 座長：三原 裕嗣 櫻井 裕子	10:30 ~ 11:20 講習会 2 (乳腺領域) 「乳腺超音波の基礎」 座長：山本 幸治 講師：柏倉 由実
	10:50 ~ 11:40 循環器 2 27 ~ 31 座長：杉浦英美喜 内田 文也	
12:00 ~ 13:00 ランチョンセミナー 1 (腹部領域) 「cSound を使い熟してみる !! ~消化器領域におけるスクリーニング から精密検査まで~」 座長：安田 鋭介 演者：小川 眞広 共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社	12:00 ~ 13:00 ランチョンセミナー 2 (脈管領域) 「日常診療に活かす下肢静脈エコー検査： どう撮り、どう診るか？」 座長：高井 洋次 演者：松尾 汎 共催：キヤノンメディカル システムズ株式会社	
13:10 ~ 14:10 特別講演 「肝腫瘍の AI 診断 Up-date: Screening 動画像からの検出と診断能」 座長：廣岡 芳樹 講師：工藤 正俊		
14:20 ~ 15:10 消化器 (肝臓) 11 ~ 15 座長：大森 茂 竹島 賢治	14:20 ~ 15:10 泌尿器・体表・その他 32 ~ 36 座長：山本 幸治	14:20 ~ 15:10 講習会 3 (循環器領域) 「高齢化社会における弁膜症の超音波診断 とそのピットフォール」 座長：土肥 薫 講師：瀬尾 由広
15:20 ~ 16:10 消化器 (胆管) 16 ~ 20 座長：直田 浩明 福本 義輝	15:20 ~ 16:00 消化器 (消化管) 37 ~ 40 座長：豊田 英樹	
閉会の辞		

## 特別講演

A会場 13:10～14:10

### 「肝腫瘍の AI 診断 Up-date: Screening 動画像からの検出と診断能」

座長：日本超音波医学会中部地方会 運営委員長

廣岡 芳樹 先生

講師：近畿大学医学部 消化器内科学

工藤 正俊 先生

## ランチョンセミナー

### ランチョンセミナー1

A会場 12:00～13:00

### 「cSound を使い熟してみる !!

### ～消化器領域におけるスクリーニングから精密検査まで～」

座長：鈴鹿医療科学大学大学院 医療科学研究科

安田 鋭介 先生

演者：日本大学病院 消化器内科 超音波検査室科

小川 眞広 先生

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

### ランチョンセミナー2

B会場 12:00～13:00

### 日常診療に活かす下肢静脈エコー検査：どう撮り、どう診るか？

座長：藤田医科大学病院 放射線部

高井 洋次 先生

演者：松尾クリニック

松尾 汎 先生

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

## 講習会（消化管領域）

---

C 会場 9:30～10:20

### 「消化管の急性腹症」

座長：三重県立総合医療センター 消化器内科

白木 克哉 先生

講師：川崎医科大学 検査診断学

畠 二郎 先生

## 講習会（乳腺領域）

---

C 会場 10:30～11:20

### 「乳腺超音波の基礎」

座長：済生会松阪総合病院 検査課

山本 幸治 先生

講師：済生会松阪総合病院 乳腺外科

柏倉 由実 先生

## 講習会（循環器領域）

---

C 会場 14:20～15:10

### 「高齢化社会における弁膜症の超音波診断とそのピットフォール」

座長：三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学

土肥 薫 先生

講師：名古屋市立大学大学院医学研究科 循環器内科学

瀬尾 由広 先生

座長：南 元人（南産婦人科）

1. 経膈超音波ガイド下針生検が診断に有用であった卵巣明細胞癌の1例……………14

トヨタ記念病院 産婦人科

金 明、村井 健、森 将、稲村 達生、柴田 崇宏、上野 琢史、竹田 健彦、  
原田 統子、岸上 靖幸、小口 秀紀

○2. 超音波断層法が術式の決定に有用であった巨大卵巣腫瘍の1例……………14

トヨタ記念病院 産婦人科

村井 健、金 明、森 将、柴田 崇宏、稲村 達生、上野 琢史、竹田 健彦、  
原田 統子、岸上 靖幸、小口 秀紀

○3. 多発性傍大動脈リンパ節転移を認めた卵巣明細胞癌の1例……………15

<sup>1</sup>トヨタ記念病院 産婦人科、<sup>2</sup>同 循環器内科

森 将<sup>1</sup>、村井 健<sup>1</sup>、金 明<sup>1</sup>、稲村 達生<sup>1</sup>、柴田 崇宏<sup>1</sup>、上野 琢史<sup>1</sup>、  
竹田 健彦<sup>1</sup>、岩瀬 三紀<sup>2</sup>、岸上 靖幸<sup>1</sup>、小口 秀紀<sup>1</sup>

4. 妊娠第一三半期における胎児三尖弁逆流の頻度と意義についての検討……………15

宮崎産婦人科 産婦人科

宮崎 顕、宮崎 純

座長：橋本 千樹（藤田医科大学 消化器内科学）

山田 玲子（三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科）

## 5. SPN との鑑別が困難であった膵神経内分泌腫瘍の 1 例……………16

<sup>1</sup>藤田医科大学病院 臨床検査部、<sup>2</sup>藤田医科大学 医療科学部、<sup>3</sup>同 消化器内科

寺島 凧沙<sup>1</sup>、杉山 博子<sup>1</sup>、西川 徹<sup>1</sup>、吉村 美穂<sup>1</sup>、鈴木 雅大<sup>1</sup>、刑部 恵介<sup>2,3</sup>、  
葛谷 貞二<sup>3</sup>、川部 直人<sup>3</sup>、橋本 千樹<sup>3</sup>、廣岡 芳樹<sup>3</sup>

## 6. 体外式超音波検査が診断に有用であった膵 IPMC の一例……………16

<sup>1</sup>名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学、<sup>2</sup>名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部

青井 広典<sup>1</sup>、川嶋 啓揮<sup>2</sup>、大野栄三郎<sup>1</sup>、石川 卓哉<sup>1</sup>、水谷 泰之<sup>1</sup>、山本 健太<sup>1</sup>、  
飯田 忠<sup>1</sup>、植月 康太<sup>1</sup>、宜保 憲明<sup>1</sup>、藤城 光弘<sup>1</sup>

## 7. 膵悪性リンパ腫の一例……………17

<sup>1</sup>大垣市民病院 消化器内科、<sup>2</sup>同 診療検査科形態診断室、<sup>3</sup>岐阜協立大学 看護学部

小藪 敬尋<sup>1</sup>、金森 明<sup>1</sup>、豊田 秀徳<sup>1</sup>、安田 諭<sup>1</sup>、竹島 賢治<sup>2</sup>、小川 定信<sup>2</sup>、  
市川 紀紀<sup>2</sup>、辻 望<sup>2</sup>、酒井 咲<sup>2</sup>、熊田 卓<sup>3</sup>

## ○8. EUS-FNA が診断に有用であった膵腺房細胞癌の 1 例……………17

藤田医科大学 消化器内科

亀島沙也香、宮地 洋平、田中 浩敬、中岡 和徳、中野 卓二、葛谷 貞二、川部 直人、  
宮原 良二、橋本 千樹、廣岡 芳樹

## 9. 超音波内視鏡（EUS）所見が診断に重要であった自己免疫性膵炎の一例……………18

<sup>1</sup>浜松医科大学 臨床検査医学、<sup>2</sup>同 第一内科、<sup>3</sup>同 光学医療診療部、<sup>4</sup>同 臨床研究センター

岩泉 守哉<sup>1</sup>、金子 雅直<sup>2</sup>、尾上 俊也<sup>2</sup>、田村 智<sup>3</sup>、谷 伸也<sup>2</sup>、山出美穂子<sup>2</sup>、  
濱屋 寧<sup>2</sup>、古田 隆久<sup>4</sup>、大澤 恵<sup>3</sup>、杉本 健<sup>2</sup>

## 10. ROSE 細胞所見が超音波穿刺方向変更に繋がり確定診断できた膵腫瘍の 1 症例…18

<sup>1</sup>鈴鹿医療科学大学 医療栄養学科臨床検査専攻、<sup>2</sup>済生会松阪総合病院 医療技術部

米田 操<sup>1</sup>、山本 幸治<sup>2</sup>

座長：大森 茂（トラストクリニック 消化器内科）

竹島 賢治（大垣市民病院 医療技術部 診療検査科 形態診断室）

## 11. 多発性肝硬化性血管腫の 1 例……………19

<sup>1</sup>富山赤十字病院 肝臓内科、<sup>2</sup>同 消化器内科、<sup>3</sup>同 総合内科部（腫瘍内科）、<sup>4</sup>同 放射線科、<sup>5</sup>同 病理部

時光 善温<sup>1</sup>、小林 才人<sup>2</sup>、北村 和紀<sup>2</sup>、徳永 麻美<sup>2</sup>、植田 亮<sup>3</sup>、品川 和子<sup>2</sup>、  
岡田 和彦<sup>2</sup>、日野 祐資<sup>4</sup>、荒川 文敬<sup>4</sup>、前田 宜延<sup>5</sup>

## 12. 脾癌肝転移と鑑別が必要であった炎症性偽腫瘍の 1 例……………19

金沢大学附属病院 消化器内科

高田 昇、高山 秀雄、堀井 里和、荒井 邦明、山下 竜也、金子 周一

## 13. 肝脂肪化の程度が Share wave elastography による肝硬度測定へ及ぼす 影響について……………20

<sup>1</sup>大垣市民病院 医療技術部 診療検査科、<sup>2</sup>岐阜協立大学 看護学部、<sup>3</sup>大垣市民病院 消化器内科

作田 芽以<sup>1</sup>、小川 定信<sup>1</sup>、市川 宏紀<sup>1</sup>、酒井 咲<sup>1</sup>、竹島 賢治<sup>1</sup>、熊田 卓<sup>2</sup>、  
豊田 秀徳<sup>3</sup>、金森 明<sup>3</sup>、安田 諭<sup>3</sup>

## 14. 当院における肝硬度および肝脂肪の定量について……………20

<sup>1</sup>大垣市民病院 形態診断室、<sup>2</sup>岐阜協立大学 看護学科、<sup>3</sup>大垣市民病院 消化器内科

小川 定信<sup>1</sup>、竹島 賢治<sup>1</sup>、今吉 由美<sup>1</sup>、高橋 健一<sup>1</sup>、市川 宏紀<sup>1</sup>、酒井 咲<sup>1</sup>、  
作田 芽衣<sup>1</sup>、宮地 絵理<sup>1</sup>、熊田 卓<sup>2</sup>、金森 明<sup>3</sup>

## 15. 診断に苦慮した paraganglioma の一例……………21

<sup>1</sup>藤枝市立総合病院 超音波科、<sup>2</sup>同 放射線診断科、<sup>3</sup>同 消化器内科、<sup>4</sup>同 外科

林 健太郎<sup>1</sup>、北川 敬康<sup>1</sup>、溝口 賢哉<sup>1</sup>、落合 望美<sup>1</sup>、五十嵐達也<sup>2</sup>、池田 暁子<sup>2</sup>、  
影岡 正信<sup>3</sup>、前間 篤<sup>4</sup>

座長：直田 浩明（松阪中央総合病院 消化器内科）

福本 義輝（済生会松阪総合病院 医療技術部 臨床検査課）

## 16. 診断に苦慮した肝内胆管腺腫の1例……………21

<sup>1</sup>大垣市民病院 医療技術部診療検査科、<sup>2</sup>同 消化器内科、<sup>3</sup>岐阜協立大学 看護学部

酒井 咲<sup>1</sup>、小川 定信<sup>1</sup>、市川 宏紀<sup>1</sup>、作田 芽以<sup>1</sup>、竹島 賢治<sup>1</sup>、豊田 秀徳<sup>2</sup>、  
金森 明<sup>2</sup>、安田 諭<sup>2</sup>、熊田 卓<sup>3</sup>

## 17. 腫瘤状の胆管狭窄を認めたIgG4関連疾患の一例……………22

<sup>1</sup>大垣市民病院 消化器内科、<sup>2</sup>同 診療検査科形態診断室、<sup>3</sup>岐阜協立大学 看護学部

風呂井 学<sup>1</sup>、金森 明<sup>1</sup>、豊田 秀徳<sup>1</sup>、安田 諭<sup>1</sup>、竹島 賢治<sup>2</sup>、小川 定信<sup>2</sup>、  
市川 宏紀<sup>2</sup>、辻 望<sup>2</sup>、酒井 咲<sup>2</sup>、熊田 卓<sup>3</sup>

## 18. 腹部超音波検査で肝 SOL として認識されたIgG4関連硬化性胆管炎の1例……………22

金沢大学附属病院 消化器内科

堀井 里和、高田 昇、荒井 邦明、山下 竜也、金子 周一

## 19. 胆管癌と診断された胆管原発神経内分泌癌（NEC）の1例……………23

<sup>1</sup>大垣市民病院 消化器内科、<sup>2</sup>同 診療検査科形態診断室、<sup>3</sup>大垣協立大学 看護学部

塩田 祥平<sup>1</sup>、金森 明<sup>1</sup>、豊田 秀徳<sup>1</sup>、安田 諭<sup>1</sup>、竹島 賢治<sup>2</sup>、小川 定信<sup>2</sup>、  
市川 宏紀<sup>2</sup>、辻 望<sup>2</sup>、酒井 咲<sup>2</sup>、熊田 卓<sup>3</sup>

## 20. 他疾患の経過観察中に急速な増大を認め悪性腫瘍との鑑別を要した黄色肉芽腫性胆嚢炎の1例……………23

<sup>1</sup>名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学、<sup>2</sup>名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部

植月 康太<sup>1</sup>、川嶋 啓揮<sup>2</sup>、大野栄三郎<sup>1</sup>、石川 卓哉<sup>1</sup>、水谷 泰之<sup>1</sup>、飯田 忠<sup>1</sup>、  
山本 健太<sup>1</sup>、宜保 憲明<sup>1</sup>、藤城 光弘<sup>1</sup>

座長：柏倉 由実（済生会松阪総合病院 乳腺外科）

○21. 出産妊娠後乳腺炎を繰り返した後に発見された DCIS の 1 例……………24

<sup>1</sup>磐田市立総合病院 乳腺外科、<sup>2</sup>ともものクリニック 外科

山崎 宏和<sup>1</sup>、伊藤 靖<sup>1</sup>、後藤 圭吾<sup>1</sup>、伴野 仁<sup>2</sup>

22. 当院における生検診断と術後診断が一致しなかった乳管癌の検討……………24

社会医療法人宏潤会 だいどうクリニック 超音波診断・生理検査センター

田川 容子、宮坂 裕子、久野 真季、熊谷 沙矢、浜田奈穂子、中島由利加、都筑奈加子、  
佐野 充子

座長：三原 裕嗣（四日市内科ハートクリニック）

櫻井 裕子（三重大学医学部附属病院 中央検査部）

23. 前脛骨動脈の感染性動脈瘤が保存的加療で縮小する様子を血管エコーで経時的に評価し得た一例……………25

福井大学医学部附属病院 循環器内科

江口 智也、汐見雄一郎、青山 大雪、山口 順也、長谷川奏恵、玉 直人、福岡 良友、石田健太郎、宇随 弘泰、茅田 浩

24. 心室中隔の奇異性運動から診断に到った BWG(Bland-White-Garland) 症候群の 1 例……………25

<sup>1</sup>矢嶋小児科小児循環器クリニック 小児科、<sup>2</sup>岐阜県総合医療センター 小児循環器科、<sup>3</sup>岐阜県総合医療センター 小児心臓外科

矢嶋 茂裕<sup>1</sup>、桑原 尚志<sup>2</sup>、桑原 直樹<sup>2</sup>、田中 秀門<sup>2</sup>、岩田 祐輔<sup>3</sup>

25. 塞栓源の原因鑑別に経食道心エコーが重要であったトルソー症候群の一例……………26

<sup>1</sup>三重大学医学部附属病院 中央検査部、<sup>2</sup>三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学

杉浦英美喜<sup>1</sup>、佐藤 徹<sup>2</sup>、荻原 義人<sup>2</sup>、宮田 真希<sup>1</sup>、白本 早希<sup>1</sup>、福田はるみ<sup>1</sup>、櫻井 裕子<sup>1</sup>、森本 誠<sup>1</sup>、田辺 正樹<sup>1</sup>、土肥 薫<sup>2</sup>

26. 右房内血栓を有した急性肺血栓塞栓症の 2 症例……………26

<sup>1</sup>鈴鹿中央総合病院 循環器内科、<sup>2</sup>松阪中央総合病院 循環器内科、<sup>3</sup>同 胸部外科

伊神 明良<sup>1</sup>、福山 曜<sup>2</sup>、平松 大典<sup>2</sup>、塩地 弘和<sup>2</sup>、佐藤 雄一<sup>2</sup>、後藤 至<sup>2</sup>、杉浦 伸也<sup>2</sup>、幸治 隆文<sup>2</sup>、谷川 高士<sup>2</sup>、駒田 拓也<sup>3</sup>

座長：杉浦英美喜（三重大学医学部附属病院 中央検査部）

内田 文也（三重ハートセンター 診療支援部）

27. びまん性左室収縮低下を示し虚血性心筋症との鑑別が困難であった CD36 欠損症の一例……………27
- 福井大学医学部附属病院 循環器内科  
江口 智也、福岡 良友、帰山 知己、山口 順也、汐見雄一郎、長谷川奏恵、玉 直人、石田健太郎、宇随 弘泰、茅田 浩
28. 左脚ブロック患者の心機能評価……………27
- 名鉄病院 中央検査部  
河合希世巳、中川 真穂、田貫みゆき、野田 省二、岩瀬 正嗣
29. 拡張期奇異性血流による心尖部肥大型心筋症に合併する心尖部瘤の評価……………28
- <sup>1</sup>三重ハートセンター 臨床検査科、<sup>2</sup>同 循環器内科  
松林 正人<sup>1</sup>、内田 文也<sup>1</sup>、柿本 将秀<sup>1</sup>、宮原 真敏<sup>2</sup>、西川 英郎<sup>2</sup>
30. Fallot 四徴症術後遠隔期に右室流出路狭窄及び冠動脈多枝病変による心不全増悪をきたした一例……………28
- <sup>1</sup>松阪中央総合病院 循環器内科、<sup>2</sup>同 心臓血管外科  
杉浦 伸也<sup>1</sup>、塩地 弘和<sup>1</sup>、後藤 至<sup>1</sup>、佐藤 雄一<sup>1</sup>、幸治 隆文<sup>1</sup>、谷川 高士<sup>1</sup>、小津 泰久<sup>2</sup>、井上健太郎<sup>2</sup>、駒田 拓也<sup>2</sup>
31. 心室中隔欠損を合併した右室二腔症の成人の一例……………29
- <sup>1</sup>鈴鹿中央総合病院 循環器内科、<sup>2</sup>松阪中央総合病院 循環器内科、<sup>3</sup>同 胸部外科  
伊神 明良<sup>1</sup>、福山 曜<sup>2</sup>、平松 大典<sup>2</sup>、塩地 弘和<sup>2</sup>、佐藤 雄一<sup>2</sup>、後藤 至<sup>2</sup>、杉浦 伸也<sup>2</sup>、幸治 隆文<sup>2</sup>、谷川 高士<sup>2</sup>、駒田 拓也<sup>3</sup>

座長：山本 幸治（済生会松阪総合病院 検査課）

32. 超音波が有用であった尿管口閉塞症例に対する TUR（経尿道的切除術）の 2 例…29  
<sup>1</sup>新都市病院 泌尿器科、<sup>2</sup>十全記念病院 泌尿器科  
 伊藤 吉三<sup>1</sup>、海野 智之<sup>1</sup>、齋須 和浩<sup>2</sup>、横井 聡始<sup>2</sup>
33. 救急初療超音波評価における水腎症の拾い上げに関する検討……………30  
 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 放射線技術科  
 和田 悠平、藤井 健斗、前田 佳彦、中川 達也、河野 泰久
34. 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術後の超音波における  
 至適評価項目の検討……………30  
 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 診療技術部 放射線技術科  
 藤井 健斗、石黒 奈穂、和田 悠平、宇佐美朋香、三枝 紫乃、田淵 友貴、前田 佳彦、  
 中川 達也、河野 泰久
35. 当院におけるアキレス腱計測の初期成績……………31  
<sup>1</sup>地方独立行政法人三重県立総合医療センター 中央放射線部、<sup>2</sup>同 消化器内科、<sup>3</sup>同 循環器内科  
 安本 浩二<sup>1</sup>、白木 克哉<sup>2</sup>、林 恒賢<sup>3</sup>、村山 晋也<sup>1</sup>、寺西 良太<sup>1</sup>、齋藤 睦<sup>1</sup>、  
 橋本 良亮<sup>1</sup>、奥村 尚人<sup>1</sup>
36. 当院における超音波検査の感染防止対策について……………31  
 伊勢赤十字病院 医療技術部 放射線技術課  
 久保 雅敬

座長：豊田 英樹（ハッピー胃腸クリニック）

## 37. メッケル憩室との鑑別が困難であった重複腸管の1症例……………32

<sup>1</sup>地方独立行政法人三重県立総合医療センター 中央放射線部、<sup>2</sup>同 消化器内科、<sup>3</sup>同 放射線科

安本 浩二<sup>1</sup>、白木 克哉<sup>2</sup>、瀬田 秀俊<sup>3</sup>、村山 晋也<sup>1</sup>、寺西 良太<sup>1</sup>、齋藤 睦<sup>1</sup>、  
橋本 良亮<sup>1</sup>、奥村 尚人<sup>1</sup>

## 38. 腹膜垂炎におけるCT対比による超音波所見の検討……………32

<sup>1</sup>医療法人社団 浜田内科胃腸科 放射線部、<sup>2</sup>同 消化器内科

加藤 明德<sup>1</sup>、浜田 実<sup>2</sup>

## 39. 完全内臓逆位症を伴う横行結腸癌に腹壁膿瘍を合併した一例……………33

<sup>1</sup>阪和住吉総合病院 消化器内科、<sup>2</sup>同 消化器外科、<sup>3</sup>宝塚市立病院 病理診断科

川端 一美<sup>1</sup>、矢田 豊<sup>1</sup>、阿部 孝<sup>1</sup>、宮崎 純一<sup>1</sup>、高田さゆり<sup>1</sup>、池尾 光一<sup>1</sup>、  
宮本 勇人<sup>1</sup>、田中 伸夫<sup>2</sup>、村西耕太郎<sup>2</sup>、松尾 祥平<sup>3</sup>

## 40. 遡ると5年前の超音波内視鏡（EUS）所見が重要であった多発胃底腺型胃癌の 一例……………33

<sup>1</sup>浜松医科大学 臨床検査医学、<sup>2</sup>同 第一内科、<sup>3</sup>同 光学医療診療部、<sup>4</sup>同 臨床研究センター

岩泉 守哉<sup>1</sup>、杉浦 喜一<sup>2</sup>、松浦 友春<sup>2</sup>、田村 智<sup>3</sup>、谷 伸也<sup>2</sup>、山出美穂子<sup>2</sup>、  
濱屋 寧<sup>2</sup>、古田 隆久<sup>4</sup>、大澤 恵<sup>3</sup>、杉本 健<sup>2</sup>